

水質分析結果

< 分析センター >

パイオニアエコサイエンス株式会社
PSラボ/MRDC
〒321-0923
栃木県宇都宮市下栗町695-6
TEL 028-688-0391
FAX 028-688-0392

< 分析依頼者 >

農家名 様
作物 トマト
ブロック 原水
定植予定日
採取日 平成 年 月 日
分析日 平成 年 月 日

< 診断 >

担当者

S1: Low-Sodium Water

< 分析結果 >

		低い	やや低い	適正	やや高い	高い
pH	7.6					
EC milli-siemens	1.46					
EC micro-siemens	1460	クラス3				
硝酸態チツソ ppm	7.45					
リンサン ppm	0.14					
カリ ppm	8.2					
meq/L	0.21					
カルシウム ppm	95.4					
meq/L	4.77					
マグネシウム ppm	31.6					
meq/L	2.64					
ナトリウム ppm	116.2					
meq/L	5.05					
亜鉛 ppm	0					
銅 ppm	0					
マンガン ppm	1.46					
鉄 ppm	0.01					
イオウ ppm	13.6					
ホウソ ppm	0.07					
ケイ酸 ppm	17.1					
重炭酸 ppm	107.12					
塩素 ppm	321.4					
ナトリウム吸収率	2.63					
硬度	368.4	とても硬い				
全溶解イオン	934.4	クラス3				

コメント

* 重炭酸がやや高いため、pHがやや高いようです。

* 塩素がECを高めており、ECが高い水質をかん水に利用すると、水分や肥料の吸収が抑制されやすく、食味は良くなりますが樹勢の維持や果実の肥大に影響を及ぼしたり、尻腐れ果や葉先枯れなどを招きやすくなります。

* リンサンが0.1ppmを超えるときには、水の富栄養化が進行しており、藻類やバクテリアの繁殖が早まり、肥料や農薬の効果が低下（有効成分の分解）します。

* このような水質が、作物や土壌、また肥料や農薬へ与える影響の度合いからクラス分け1~5（クラスが大きいほど、影響力が大きい）を行っています。この水質はクラス3に分類されます。

* 薬剤散布にこの水質を利用する場合は、

「PSリンク」を5.556倍希釈濃度（100Lタンクに18cc添加）での添加をお勧めします。

「PSリンク」が水の緩衝能（バッファー / 影響力）を軽減し、薬剤の効果を維持します。

参考… 緩衝能（バッファー）とは、pHを維持しようとする力です。

緩衝能（バッファー）が大きければ大きいほど、農業用水としては使いにくい水と言えます。

但し、アルカリ性の薬剤や肥料には「PSリンク」の添加は必要ありません。

* 尚、この水質をかん水に利用する場合、影響力の軽減および、根圏の物理性 / 化学性 / 微生物学性の改善（根の伸長を促進）のため、栽培期間中には、1週間に1回、下記をかん水チューブで施用する事をお勧めします。（10a当り）

PSリンク 300cc + PSマリンパワー 200cc + アーキア酵素むげん 500cc

この結果は、当研究所に持ち込まれたサンプルの分析値です。サンプリングの方法、環境や管理上の条件等の変動要因により、この結果及びそれに対する処方が作物に十分反映されなかったとしても、当研究所は一切責任を負いません。処方は分析結果及び農家からの聞き取りを基に忠実に行われたものです。